

令和2年度 第1回審議会からの主な修正事項一覧

資料頁	項目	第1回審議会での指摘事項	修正内容
1	経営戦略の策定にあたって	・特になし	新規に追加
14	路線別の収支状況	・特になし	最新（令和元年度）のデータに更新
18-25	見直しが必要とされる路線の検討の方向性	・路線によって、市の交通政策と連携しながら進めていくものとそうでないものがあり、その判断基準がわかるづらい	基本的にはすべての路線が市の交通政策と連携しながら進めていくものだが、市営バスとして改善の余地があるところと、それだけでは限界があるものという線引きで、特に連携が必要なものとして山間3路線のみの表記とした（修正なし）
18-25	見直しが必要と考えられる路線について	・特になし	路線・バス停別利用者数・沿線の人口分布図を追加
29-51	個別戦略ごとの指標	・特になし	具体的な目標を追加
30-58	具体的取組の実施スケジュール	・特になし	実施スケジュールを追加
45	コロナ禍を受けての取組について 個別戦略⑤ (1)さまざまな媒体を通じた情報発信の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の国の補正予算の中に、一部公共交通が入っているが、何か活用を考えているのか ・今回の国の補正予算では赤字補填ができないので、自治体と交通事業者が連携して、利用者の回復とイメージアップのキャンペーンを張っていくことが大事 ・コロナ禍のあとには、国内の旅行喚起が行われることになるが、Google検索に対応したGTFS-JPに準拠したデータを作ったうえで、MaaSアプリを作成していくことが望ましい 	①取組の概要 「MaaSアプリとのタイアップとして、インターネットにおける経路検索に対応したオープンデータの作成を行う」を追加 「市営バスの感染症対策の取組み等について車内やWeb等を通じて情報発信を行う」を追加 ②期待される効果 「市営バスの利用に対する安心の回復」を追加 ③実施スケジュール 「感染症対策の取組みの情報発信」について、実施・継続の矢印を追加

■令和2年度 第1回審議会からの主な修正事項一覧

資料頁	項目	第1回審議会での指摘事項	修正内容
56	個別戦略⑩ (2)市営バス事業運営の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・どの部門について関連会社を設立して効率化を図ろうとしているのか、それに伴いどれだけの効果があるのか ・本当にバスの運送と親和性の高いことができればよいが、事業の複数化というかたちで慎重な検討が必要 	①取組の名称 「経営の効率化・多角化検討（関連会社設立等）」 ⇒「市営バス事業運営の効率化」に修正 ②取組の概要 「新規関連会社を設立し（中略）関連事業の多角化による旅客サービスの向上を行う。」 ⇒「組織の効率化、関連会社設立による分社化など、あらゆる可能性について検討を行う」に修正
57	個別戦略⑩ (3)アセットマネジメントの取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産台帳をどのように充実させていくかが課題であり、記載の内容は最もだが、仕組み整備や台帳整備のところから検討していかないといけないと思うので、そういったことも触れられてはどうか 	既存の保有施設の台帳を整理することが手順の第一であることから、実施スケジュールにおいて、令和3年度に「経年劣化施設の情報収集及び計画策定」とした
61-62	新型コロナウイルス感染症による収支への影響予測	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	最新のデータ（令和2年6月迄）に更新
63-64	戦略の推進と進捗管理	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	P D C Aによる進捗管理イメージと今後の検討体制を追加
65-72	参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	新規に追加